



子どもたちに学びの場を！

## アフガニスタン 学校建設



写真(左): 青空教室で授業を受ける子どもたち(グルダック小学校)



写真(右): SVAが建設したザルバチャ小学校(2008年)

写真(右): ラル・プール女子小学校の子ども達と建設された校舎



戦乱が終結し、400万人を超える子どもが学校に戻ってきました。しかし、学校に戻っても、子どもたちが安心して過ごせる校舎がありません。仮校舎として木陰やテントでのいですが、時には気温40度を越える中での授業です。教室にあるものは、黒板とみんなの熱意。先生も手当てが充分支払われない中で、子どもたちを教えています。全国の学校約7,600校の内、5,000校が建設・修復が必要です。校舎があっても、すし詰め状態で授業を受けています。

退避勧告地域において絶えず治安が不安定で予断を許さない中、SVAは、ナンガハール州の教育局と地元の人々と協力しながら、時には守られながら、学校建設を行っています。

アフガニスタンの子どもたちに学びの場を提供する学校建設事業に皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220  
<http://www.sva.or.jp> Email: [info@sva.or.jp](mailto:info@sva.or.jp)

## アフガニスタン 学校建設とは？



### 【事業の概要】

建設地選定にあたっては、ナンガハール州教育局が維持・管理する公立校で、校舎がない(または教室の絶対数が不足している)など、優先順位が高い学校から建設します。

建設工事は、住民参加型で行います。地元の住民組織が学校委員会を設立し、学校委員会は、土地、労働者、建築資材を提供し、資機材・スタッフの安全を確保します。

SVA独自の建設チームが、資機材の調達から設計、施工及び竣工まで責任を持ち、校舎完成後は州教育局と地元の学校委員会に校舎を引き渡します。校舎引渡しの際に、住民の皆さんが校舎の維持・管理ができるよう講習会を実施します。設計は教育省の建築基準にのっとり、耐震性の高い鉄筋コンクリート製です。

2003年の事業開始から2008年度までに合計19棟の校舎を建設致しました。

【学校建設第1号・タキアガレイ小学校】  
ジャララバード市から車で1時間。以前は、校舎はなく、男子はアシでできた校舎、女子は国連のテントを利用していました。児童数は約600人。

この学校はタキア村とガリ村との間にあり両村の人口は約1万2千人。1980年から90年前半の旧ソ連占領及び内戦時には、村の人々の9割が難民としてパキスタン、イランに避難し、タリバン時代に半数が戻り、ようやく村の再建が始まったばかりでした。2004年3月に半年かかって校舎が完成しました。



建設前の授業風景 (2003年2月)



建設後の校舎で授業 (2004年3月)

### 【ご支援額】

建設費(校舎一棟6教室)980万円。資機材費・人件費の建設関係費ほか、事業管理費、校舎修繕及び管理に関する講習会経費、安全確保の経費を含みます。(ご支援金額は、契約時の為替、資材費等で変動いたします。ご理解の程、宜しくお願いします。)

### 【所得税及び法人税の優遇措置について】

当会へのご寄付については所得税及び法人税の優遇措置がありますので、詳しくはお問い合わせください。

### 【お振込先】

- 1) 郵便振替 \* 郵便振替手数料が免除

郵便振替口座: 00150-9-61724

口座名: 社団法人シャンティ国際ボランティア会

\* 郵便振替用紙に「アフガニスタン学校建設募金」とご記入下さい。

- 2) 銀行送金 \* 送金手数料はご負担ください。

銀行振込口座: 三菱東京UFJ銀行 巣鴨支店(普通)3580105

口座名: 「社団法人シャンティ国際ボランティア会」

\* 詳しくは、弊会東京事務所アフガニスタン担当までご連絡ください。

### 【ご支援決定から建設まで】

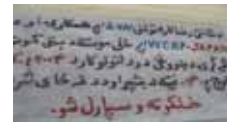
建設地決定、事業計画書のご提案、覚書の調印、支援金の入金、ご芳名(ロゴ)の確認



建設開始



建設終了、管理講習会実施、ご芳名プレートの設置(左記)



贈呈式の実施  
(現状では治安が悪いため現地に行けません。ご了承ください)



報告書のお届け